



西野まさひと

活動報告 No.39



ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページもみてね!】<http://www.nishino1.com/>

■ 西野まさひと友の会では、日野市の街づくりに対する西野正人議員の提言等についてご報告いたします。

豊田と南平をつなぐ (仮称) 豊南橋の架橋の検討を!



日野市は浅川と多摩川によって恵みを受けるとともに、交通を分断される課題も抱えています。豊田と南平を人道橋でつなぐ案は、これまで何度か俎上に上がったことがあります。日野市のプランとして正式に取り上げられたのは、2003年の馬場市政時代に作成された「まちづくりマスタープラン」です。このプランは2020年を目標年次として市民参画で作成されたものです。当時は理想の一つとしてプランにあげられたものかと思いますが、豊田南の区画整理が進捗し、現実的なプランとして再度検討課題として取り上げるべきです。南北交通の利便性の向上や、歩きたくなるまちづくりの更なる前進のためにも有効なプランではないでしょうか。また、南平体育館建て替えと共に期待される南平駅周辺の整備・発展にも貢献するプランです。



浅川スポーツ公園グラウンドの人工芝張替えの早期実現を!



浅川スポーツ公園グラウンドは、1992年に施工され、グラウンドと多目的広場と駐車場から構成されています。当初は土のグラウンドでしたが、ほこり対策として人工芝が張られ、現在の人工芝のグラウンドは主にサッカー場として多くの市民に利用されています。

しかし、人工芝のいたみも激しく、左の写真のように黒い島状の部分がいくつも見られます。これは人工芝が摩耗し、人工芝の根本のゴムチップが表面に浮いてきているものです。また、傷みの激しい部分にはつぎはぎし、補習して使用しています。関係団体の皆様からも、人工芝の張り替えの要望が上がっています

スポーツ振興はもとより、安全で楽しくプレーできる環境を守るためにも早期に人工芝の張り替えが必要です。日野市政に携わる一人として早期実現を求めて提言します。





新たな農業振興の拠点「みなみの恵み」がオープン!

市が所有している万願寺地内の土地に、平成 29 年 10 月 30 日、東京南農業協同組合の農産物直売所「ファーマーズマーケット東京 みなみの恵み」が万願寺に開設されました。日野市内をはじめとした多摩地域の農産物を販売し、またこれらを素材とした飲食店も併設しています。日野市の農業振興の新たな拠点として期待されています。また、日野市の姉妹都市である岩手県紫波町の特産品販売コーナーも設けられています。そして、この施設は地域の方のために会議室を開放していただいたり、災害時の一時避難場所として活用するなど、万願寺地区の拠点としての役割も担います。



■ 生産緑地の「平成 34 年問題」にも行政・議会が一体となって対応!

平成 4 年に定められた生産緑地制度は、農地に対して税制を優遇する制度で、急速に進む宅地化に歯止めをかけ、都市農地保全に大きな役割を果たしてきました。しかし、この制度は農地として承認される基準の一つに「30 年間の営農」があり、その 30 年目を迎える平成 34 年に、一気に宅地転用が起るのではないかと心配されているのが「平成 34 年問題」です。

議会では、今年の 9 月議会にて条例改正を行い、農地としての基準の面積要件を現行 500 m²から 300 m²としました。今後も、頑張る農家の方々が農業を続けられる環境づくりに取り組んでまいります。

報告 新火葬場の計画が程久保地域を候補に進んでいます!



■ 候補地確定を目指して地権者及び周辺地域の方々と交渉中

今年の 6 月議会にて、一般会計予算の補正で新火葬場の基本構想の策定に予算がつきましたが、その後、日野市は程久保地域の地権者の方々と用地取得に向かって交渉を行っています。地域の方々の意見もうかがいながら慎重に進めなければならない事案ですので、関係者の皆様にご理解を得た上で進捗できるように努力して行きたいと思っております。市民の皆様には順次、経過をご報告してまいります。

提言 堀之内研修所にかわる地域のための施設確保を!



■ 区画整理に伴い現在の堀之内研修所・消防小屋・火の見やぐらは解体



堀之内研修所

川辺堀之内地区は現在区画整理が順調に進行しており、人口も増加しています。新たにこの地域の住民となる方との交流を深めるために様々なイベントを企画するなど、活発な地域活動も行われています。川辺堀之内地内にある堀之内研修所と消防小屋・火の見やぐらは歴史ある施設で、現在も地域の皆様の交流の場として活用され、防災拠点となっています。しかしながら、この土地は民間所有の土地に建っており、区画整理事業に伴い解体せざるをえません。地域のコミュニティーを維持するためにも地域交流拠点を確保すべきです。複合施設の建設など、区画整理事業の進捗に合わせ、市に素早い対応を求めてまいります。